機械工学科

発行所：機械工学科
責任者：学科長
編集員：有志
創　刊：H16 12/1
号　数：第4号

機械工学科学科長承認之印

学生には最大限の努力を要求
千葉学科長指導方針

本年四月に学科長に就任した千葉教授は，七項目から成る学科の教育指導方針を発表した．教官には「学生は一成人，」「決して馬鹿にしない」と学生に対する態度を戒めた．一方，学生に対しては，詰め込み教育の実施や最大限の努力の要求等，少々きつい面もある．

機械工学　学科長教育指導方針

1. 基礎重視の授業を徹底します。そのために反復教育、詰め込み教育を行います。
2. 自己研鑽と最大限の努力を要求します。努力をしない学生は必要ありません。
3. 成績評価の基準を公表し、厳正な成績評価をします。不可をつけることもためらいません。
4. 学生一人ひとりを独立した成人として扱い、決して学生を馬鹿にしません。
5. 学生の教育を第一と考え、教官はいかなる援助も惜しみません。
6. すべての授業を公開し、教官相互に授業内容を批評し、授業の質を高めます.
7. 質の高い教育を維持するため、教官自身も自己研鑽に励みます.

四年生諸君へ

機械工学学科長　千葉矩正

一年生の学科選択にあたり，君たち四年生の意見は重要である．君たちが「あそこはやめとけ」と言えば多くの一年生はその学科を希望しないだろう．君たちの一言は教官では太刀打ちできないほどの影響力がある．

そこで君たちにお願いする．一年の相談には真剣に対応してやれ．機械工学科を宣伝しろ，と言っている訳ではない．君たちが良いと思っているなら勧め，機械科に来て失敗したと思っているならそれを答えてやればいい．決して場末のキャバクラの呼び込みの様に，言葉巧みに，迷っている一年生を引きずり込むようなことをしてはいけない．君たちは，学生隊学生長，大隊学生長，棒倒し優勝総長を有する近年まれな優秀なクラスである．君たち四年生全員が私の自慢であるばかりでなく二年，三年生にとっても自慢の先輩なのである．君たちをみて機械に憧れる一年生は必ずいる．君たちが一年生の時，当時の四年生はどうだったか．同じように接すれば良いのだ．

機械工学科は君たちが作り上げるのだ．

君は「授業アンケート」にまじめに答えているか？

「授業アンケート」．みんなはまじめに入力していますか？　ある科目のアンケートについて紹介してみる．

実習を伴うこの実技科目は，担当教官のもとで技官が実技指導をする，「物造り」には不可欠な科目である．当初はとまどっていた学生は，すぐに慣れ，様々な工作機械を操り見事な作品を作り上げていく．ほとんどの学生がそれに感激する．例年アンケート結果は最高評価である．が，今年は「普通」が多かったのである．他の科目から見れば「良い評価」と見えても，それまでと比べると落ちる．

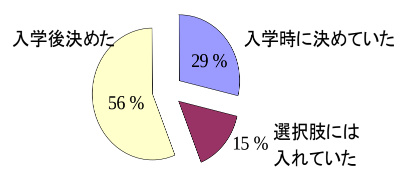
担当教官は「学生は適当に答えるのも多いから，気にすることはないですよ．」と言うが，実直な技官達はそうはいかない．指導方法が至らなかったのではないかと反省会を開いて考えられる原因と対策を検討している．その真摯な態度には頭が下がる．この様にアンケート結果を正面から受け止め，悩み苦しみながら理想の授業を求めている教官はどれほどいるのだろうか．教官も学生も慣れきってしまって，お互い，真に受けていないのではないか．

まず，教官はアンケート結果を真摯に受け止める．学生諸君は「良い授業は自分達の意見で作るもの」と考え，まじめに答えてくれ．

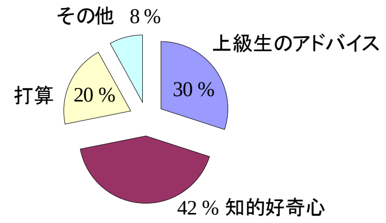
機械工学科に決めた動機は？

五十期〜五十二期のアンケート結果．

左のグラフは過去三年間のアンケート結果をまとめたものである．左上のグラフは学科を決めた時期，左下は「入学後に機械工学科に決めた」と言う学生の内訳を示す．



機械工学科に決めた時期は



機械工学科に決めた「決めて」は何ですか.
(「入学後決めた」と答えた学生に聞きました)

「決めて」については「打算」が多いかと思ったが，「知的好奇心」が，思ったより多いのに安心した．知的好奇心の対象は，自動車，戦車の車両関係．スッポン泳法等のスポーツ流体工学，たばこの煙を使った空気砲等である．一方「打算」の内容は，不可が少なく留年しない，厳しい教官がいない，難しい授業がない等である．上級生からのアドバイスの内容は，楽，試験が簡単等の打算的な内容の他，面白い教官がいる，卒研が面白い，というまじめなアドバイスもある．適切かどうかは別にして，「四年生の一言」は学科選択には重要である．

学生に言いたいこと，教官に言いたいこと，自分の主張等機械工学科に関する記事をお寄せ下さい．筒井まで．

3学年「機械工作実習修了証」授与される．

十月十二日，機械工学実習を修了した学生(四十四名)に対し，「修了証」が渡邉教授から授与された．内容は旋盤，フライス盤，NC旋盤，アーク溶接である．今後は，「修了証」を提示すれば，実習工場内の工作機械を自由に使用できる．近年，「実習」をしない大学もある中，機械科は頑なに「実習」を続けている．将来，必ず役立つ時が来ると確信しているからである．ある本学科出身の研究科学生は「術科学校で溶接の経験を聞かれた．防大，一般大出身者が数多くいるなか，私を含めた機械科出身者だけが手を挙げることができ，誇らしかった．」と語っていた．

当日は学科長，運営委員長所要のため渡邉教授が代理を務めた．

真柴学生(4学年・流体工学)学会で論文発表

講演中の真柴学生(平成17年10月・山梨)

4学年真柴学生は，日本機械学会山梨講演会(十月二十二日，山梨)，流体工学部門講演会(十月三十日，金沢)で立て続けに論文発表を行った．一週間に二度の発表は本科学生にとっては異例である．もっとも，二度目の発表はかなり教官の助けがあったようだが，並み居る全国の研究者を前に，堂々と発表を行う姿勢は評価できる．たいした度胸だ．

真柴学生が所属する研究室では，本科学生の学会発表は恒例で，学会のアカデミックな雰囲気に魅せられ，その後の後の卒業研究に取り組む姿勢が積極的になる．そればかりか研究そのものに魅力を感じ，研究科学生として再び戻ってくる学生もいる．来年度入校予定の平尾恵子3空尉もその一人である．

第2学年（第52期）学生

1.伊藤史晃 113
2.植木陽子 133
3.枝元孝史 111
4.勝葉大輔 142
5.神尾政行 141
6.河上　剛　112
7.久木田知也 121
8.椎原尚輝 133
9.高橋一平 123
10.竹鼻亮道 132
11.田中浩章 143
12.津田祐介 113
13.成田　優　111
14.樋口一成 143
15.真崎康次 122
16.水野秀治 121
17.横田拓也 121
18.阿部　勤　133
19.岡田太地 111
20.小川裕一郎 131
21.久山正晃 131
22.光畑康生 123
23.斎藤啓一郎 121
24.瀬口雅治 143
25.土肥　紘　112
26.松橋勇介 112
27.森口雄太 142
28.稲津英輔 132
29.大堀雄太 141
30.小田賢一郎 132
31.辰巳優介 121
32.田中聡信 123
33.中島正喜 133
34.中濱昌博 141
35.長尾雄司 111
36.西岡晋太郎 122
37.橋本浩尚 143
38.平井洋介 131
39.別府洋祐 112
40.松永康佑 142
41.本　悠弥 143

第3学年(第51期)学生

1.安積健司 242
2.伊藤幸司 212
3.稲田善紀 221
4.岩月賢二 213
5.柏本和義 241
6.加藤僚 232
7.藏屋雄介 242
8.是澤亮 221
9.阪本大介 231
10.嶋田修之 222
11.白戸和規 232
12.高橋康哲 231
13.竹内誠 222
14.田之倉威啓 231
15.得田修 222
16.野呂瀬葉子 241
17.ﾊﾞﾔﾙｼﾞｬﾙｶﾞﾙ･ﾎﾙﾙｶﾞﾗﾜ 241
18.桝田剛 221
19.松尾彰美 243
20.米澤良幸 233
21.渡辺健 223
22.梶山智之 221
23.神戸健輔 241
24.宜保直毅 232
25.志垣勲 221
26.嶋田雅一 231
27.永田英之 223
28.日高智雄 223
29.桝田真里子 231
30.三笠太郎 233
31.山田純也 243
32.秋山伸 222
33.江崎翔一 232
34.坂元雅史 211
35.高木直敏 211
36.竹中さあや 242
37.永吉健志 213
38.橋口邦彦 212
39.松浦由希 231
40.三橋健太郎 233
41.森田隆之 241
42.八坂陽範 213
43.横道武志 241
44.吉田憲正 231

第4学年(第50期)学生(卒研講座別)

強度設計	機械材料	制御加工	計測制御	熱工学	流体工学.	自動車	機械力学
上田幸史 211	虻川和也 222	中神陽平 212	藤原弘副 231	.小山祐輔 243	松田耕助 241	奈良本晴彦 213	田村太宏 211
大澤仁士 242	山崎善史 221	中村紘巳 231	石田辰徳 222	本田明也 213	前田良太 241	永田正隆 213	伊藤正貴 233
ﾊﾙﾀﾙ･ﾋｼｸﾞｽﾚﾝ 241	櫻田貴洋 211	本蔵智久 211	佐藤雄俊 243	中川蔵太 231	山下隼平 232	.細谷英寿 244	中村雄也 234
鷲峰清三 213	.関裕矢 242	寺村雄一 213	塩谷勝将 222	池上朋幸 212	真柴智樹 221		
竹村良太 211	山内大志 221	野口祐太 223					